

年月日

19
11
08ペー
ジ

25

NO.

現代はテクノロジーの進化によって生じるテクノストレスや対人ストレスの反動などから自然との一体感や五感に訴えるリラクゼーションの需要が社会的に高まっている。このことは人々のライフスタイルに影響し、精神的な豊かさを求める傾向が強くなっている。

2—3年前に欧米でブームとなり、最近日本でも話題となっているデンマークの文化「ヒュッゲ」はデンマーク語で居

心地が良い、心が安らぐという意味だが、ヒュッゲな空間や、そこで楽しむ家族や友人とのおしゃべり、食事をする時間

大切にするライフスタイルが共感を呼んでいるのも、この流れによるものだ。インテリアデザイン

の世界でも安らぎや癒やしをデザインに取り入れ

たものが多く見られる。トレンドがいち早く反映

される住宅のモデルルームにもリラックスを基

調としたシンプルな空間

△デザインのチカラ△

⑯



アウトドア家具によって、内と外が自然につながり、リラックス感を醸し出す。三井ホームの商品「ラングレー」

の演出が増えており、ホテルやオフィスのデザインでもリラックスの要素を取り入れている。

ここ数年人気の続いているローソファやローベッドなどは、リラックス効果のある柔らかいフォ

ームや自然素材を用いた

ものなど、多くの種類が

国内外の家具メーカーか

ら発表されている。高さ

ライフスタイルが影響

を押された分、空間を広く見せる効果もあり、さまざまな空間で用いられている。

家具選びのトレンドで言うと、ヴィンテージ家具やこだわりの逸品をアクセントとして空間づくりに生がすことも好まれている。これは自分のお

とから生まれるリラック

スのトレンドを受けて種類やデザインも豊富にな

り、住宅のデザインに取り入れられるなど需要が

高まっている。住宅メーカー「三井ホーム」が発表した商品にもこのようないデザインが見られる。

このようにインテリアデザインはライフスタイルの影響を受ける。トレンドの変化を敏感にキャッチし、デザインに生かすことに加えて、次の流行を予測することもデザイナーには求められる。

(山野奈緒・三井デザインテック・デザインマネジメント部デザインディレクター)